

2024年7月発行 第22号
発行:市立名寄図書館
名寄市大通南2丁目 ☎2-4751

開館時間のご案内	
本館 * 火・金・土・日	9:30~17:00
水・木	9:30~19:00
分室 * 月~金	9:30~17:00
土	9:30~13:00

『ツンドク』という名前には「本がどんどん積読(つんどく)になるくらいおもしろい本を紹介します」という気持ちが込められています。

こんにちは。市立名寄図書館です。

バイカラーの500円硬貨が登場してから3年、今度は紙幣が変更になります。お札の顔に選ばれたのは、渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎の3人です。それぞれ何をした人かわかりますか？

『紙幣の日本史』加来耕三著 (KADOKAWA) では、初めて紙幣が作られた明治から令和までの肖像となった人物たちのエピソードや採用された時代背景などがまとめられています。

新しい紙幣の発行は7月3日から。はやく手にしてみたいですね。

集え!戦え!ボードゲーマー!! 「ボードゲームひろば」



日時: 7/20(土) 14:00~16:00

場所: 名寄図書館3階メモリアルホール

小学生から大人まで楽しめるボードゲーム7種を用意!

申し込み不要! 出入り自由! 初心者歓迎!



「名寄で学ぼう! アイヌ文化」名寄市教育委員会連携企画

北海道の厳しくも豊かな自然と共存してきた「アイヌ民族」。ここ名寄にもかつて「テシオアイヌ」が天塩川と山々の恵みで暮らしていました。そんなアイヌ民族の知恵と文化、歴史を学べるイベントを市内3施設で開催します。もちろんすべて参加無料。この機会に一緒に学んでみませんか?

名寄市民文化センター EN-RAY ホール

◆映画『カムイのうた』上映会 日時: 9/16(月・祝) ①13:30~ ②18:30~

文字を持たないアイヌの物語を初めて本にした少女・知里幸恵の生涯を描いた映画。

知里幸恵さんは名寄にもゆかりのある方なのだから。要チェックです!

※整理券配布: 8/13(火)~ EN-RAY ホール・北国博物館・名寄図書館・名寄図書館風連分室

北国博物館

◆企画展「アイヌの手仕事」 期間: 8/2(金)~9/24(火) 場所: 北国博物館ラウンジ

アイヌ民族の身近な暮らしや、手作業で作られた道具類がテーマの企画展示。

◆講演会『名寄のアイヌ給与地をめぐって』 日時: 9/13(金) 18:00~19:30

場所: 北国博物館2階講堂 むかし名寄にあったアイヌ給与地の歴史について学ぼう。

◆講演会『アイヌの世界観、口承文芸 ~国立アイヌ民族博物館の展示や私の体験を通じて~』

日時: 9/14(土) 10:00~12:00 場所: 北国博物館2階講堂

カムイとは何か、アイヌの口承文芸にはどのようなものがあるのか学ぼう。

市立名寄図書館

◆ミニ展示『アイヌの世界観と口承文芸』 期間: 9/1(日)~29(日) 場所: 名寄図書館1階

アイヌにまつわる本を展示します。もちろん貸出もOK!

◆文学講座「知里幸恵と『アイヌ神謡集』 -豊かなアイヌ文化を初めて文字で著した少女-

平日の開催なので参加は難しいですが、使用したテキストは後日貸出可能になります。





地名で発見！アイヌの文化 『アイヌ語地名ハンドブック』

北海道環境生活部総務課アイヌ施策推進室 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構／増刷 2001年 H291.1/ア 北郷



北海道にはアイヌ語に由来する地名が多いですね。我がまち名寄もナイ・オロ・プト（川の・ところの・口）「2つの川にはさまれた土地」を意味するといわれます。アイヌ語地名から自然と深く関わって生きてきたアイヌの人たちの暮らしや考えが伝わってきます。

地名についての本は色々ありますが、コンパクトにまとめられたこの本は最初の1冊におすすめの本です。

アイヌ文化と歴史に触れる 『アイヌ もっと知りたい!くらしや歴史』

北原モコットウナシ／監修 簗島栄紀／監修 岩崎書店 2018年 H38/ア 児童



漫画『ゴールデンカムイ』を読んで、アイヌに興味を持った人が増えているそうです。

この本は、アイヌの生活や歴史を、アイヌ語とイラストを使いわかりやすく教えてくれます。

アイヌ語一覧やアイヌ語由来の地名、アイヌの人物伝なども載っていて、入門書におすすめ。

歌や物語のページにはQRコードがあって、視聴することもできます。

まずは、同じ日本に住むアイヌの人たちを知ることからはじめてみませんか？

銀の滴 降る降るまわりに 『ユーカラおとめ』

泉ゆたか／著 講談社 2024年 913.6/イ 一般



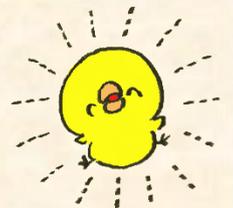
アイヌの人々は文字を持たなかったため、口伝で自然の神さまのおはなし（カムイユカラ）を伝えてきました。今わたしたちはそれらを『アイヌ神謡集』として読むことができます。差別や病と闘いながら翻訳に奮闘した19歳の女性・知里幸恵の情熱に触れてみませんか？

ぱたん、べらの本だな

今月号から名寄市立大学図書館サークル「ぱたん、べら」のみなさんにおすすめ本を紹介してもらいます！サークルでも本を紹介し合ったり、学校祭で子ども向けの読み聞かせやワークショップを開催したりと活動をされているそうです。

今回はサークル長を務めている松本直子さんがおすすめの1冊を紹介してくれました。

1月号では特集号も担当してもらう予定です。どうぞお楽しみに！



『あつかったらぬげばいい』 ヨシタケシンスケ／著 白泉社 2020年 E/ヨ 絵本



友達、部活に勉強と、激動の青春時代の真っ只中にいるみなさん。最近息抜きしましたか？この絵本はしんどい時でも読めるような、まるでおかゆのような本です。それも、やさしいやさしいお味のおかゆ本です。また、見開きで一問一答形式になっているため、ページをたくさんめくれないくらいしんどい時でも、1枚めくれば完結するので、まずは少しほっとできます。

みなさん、あつかったらぬぎましょう。

☐ YAコーナー新着本紹介！

学校をサバイブする方法をあらゆる角度から教える。『学校に染まるな! バカとルールの無限増殖』おおたとしまさ／著（筑摩書房） / 女優と歌手を目指す15歳のユキノ・レイ。彼女に舞い込む仕事はいつもどこかおかしい。『レイの世界』(全3巻) 時雨沢恵一／著（ドワンゴ） / 突然願いを叶えてくれるようになった井戸。3人の中学生だけがその理由を知っていて……。『希望のひとしずく』キース・カラブレーゼ／著、代田亜香子／訳（理論社）……etc.

名寄図書館 HP、X（旧 Twitter）では新着本やイベント情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。

＼カメラ好きな館長の腕前をチェックしてみてね！／



X @nayoro_library

